

生涯収支40億円

脅威のトレード成績を挙げる
実力派トレーダー

スパシーバ氏

特別インタビュー



INTERVIEW

 外為どっとコム

はじめに

2025年3月末、外為どっとコム取材班は、スゴ腕FXトレーダーのスパシーバ氏へ独占ロングインタビューを行いました。メールに包まれていたスパシーバ氏から、FXトレードの手法のほか、物事の考え方、将来のビジョンなど多岐にわたる内容についてお話をうかがいました。

以下の取材記事はトレーダー個人の経験やお考えに基づくものであり、また、お客様の収支については、「取材依頼時点」のものとなり、その内容については、当社が保証するものではありません。実際のお取引については充分内容をご理解の上ご自身の判断にお取り組みください。

インタビュー開始

- 今回は貴重な機会をありがとうございます。今日は、『FX成功の秘訣』をお聞きしたいと思います。

よろしくお願ひします。

分かりました・・・と言いたいところなのですが、はじめにお話しておくと、このトランプ相場で、私はFXトレードでけっこう苦労しています。私の方こそ、FX成功の秘訣を教えてもらいたいくらいの状況です(笑)

- いえいえ、どうぞよろしくお願ひします。

この後、取材陣は衝撃の話を立て続けに聞くことになる…。

INDEX

- 001 | [2025年のFX市場について](#)
- 002 | [FXとの衝撃的な出会い](#)
- 003 | [3000万円から始まった億トレーダーへの道](#)
- 004 | [為替市場の相場観、FXの取引スタイルについて](#)
- 005 | [FXを始めたころのトレード環境・情報ソース](#)
- 006 | [ズバリ、FXの「必勝法」は…？](#)
- 007 | [取引する時間帯について](#)
- 008 | [驚異の睡眠時間](#)
- 009 | [ビックリの投資環境](#)
- 010 | [おすすめの取引通貨ペア](#)
- 011 | [週末に行う投資情報の収集について](#)
- 012 | [FXトレード時のメンタル](#)
- 013 | [トレーダーとしてのモチベーション](#)
- 014 | [FXトレーダーを育てるここと](#)
- 015 | [経営者としてのミッション](#)
- 016 | [増やしたお金の使い方](#)
- 017 | [これまで語らなかった、苦しんだ10代の体験](#)
- 018 | [難病と過ごした青春時代](#)
- 019 | [得意なトレードパターンを探す](#)
- 020 | [現在の人生観](#)
- 021 | [FX専業トレーダー志望者へのメッセージ](#)

付録：事例で解説！スパシーバ流 MACD・RSIの活用方法

2025年のFX市場について

— 直近の「トランプ相場」について伺います。

トランプ劇場は、上昇リスクと下落リスク、両方あって、本当に読みにくい状況が続いています。私のこれまでの市場分析方法なら、大体1年ぐらいの相場の方向がわかるのですが、トランプ相場ではそれが当てはまらない感じなんです。

— パウエルFRB議長も含め、市場関係者はみな振り回されていると思います。

私は中央銀行の金利差を重視して相場観を組み立てますが、いまの相場変動が金利差で動いていると感じていないです。つまり、相場を読むのに苦労している、ということです。ですので、この先の相場について、誰かに教えてほしいくらいです(笑)

FXとの衝撃的な出会い

— FXを始めたきっかけをお聞きします。

友人がFXをやっていたのが、出会いですね。出会った時期はリーマンショック（2008年）前後だったと思います。友人がFXトレードをやっているというので、誘われて見に行ったら、ハイスペックパソコンを駆使して、相場の大きな動きを見逃さず、短時間でトレードする姿を見ました。その時は、アッという間に2000万円の利益ができるのを見てしまって…。

その友人が、月間で億単位の利益をあげる姿を見てしまった、というのがFXとの出会いです。当時、米ADPや米雇用統計の発表でドル円なら1円くらいの値幅があるような相場環境でした。

— FXという凄い世界があるのだなと気づいたのですね。大きなお金が動くということは、FXへの怖さも感じたのではないですか？

怖さは特になかったですね。友人が厳格なルールに基づいて、損切りなども先にしっかり決めて、それを守っていたのを見ていたから。

何より、利益が出る場面をこの目で直接見ていたので、怖さは感じなかったです。

— で、そのご友人と一緒にFXを始めたと？

友人のやり方は結構大変なので、私はしなかったですね。

— でも、がっつり稼げる方法を知ったわけじゃないですか…お金を増やしたいという強い野心はなかったのですか？

大きくお金が増えることに興味はありました。皆さんと同じくらいの感覚はあったと思います。当時は、父親の事業を手伝う形で、サラリーマンとして働いていましたから、短期間でお金が増えることの価値はよくわかっていました。

3000万円から始まった億トレーダーへの道

FXは、別の友人から聞いたトレード方法を試すことから始めました。当時、FXの知識はほとんど無かったですが、教わった通りにやってみることにしました。

— …それはどのような手法なんですか？

友人に教えてもらった手前、私の判断で手法についてお話しはできないんです。時間を活用した方法ではあります。その友人から2年くらいのFX取引の中で、損になることが無かったと聞いていたので、FX取引をはじめるにあたり、あまり不安はありませんでした。

— その手法、もっと詳しくお聞きしたいですけど…わかりました。

その、時間を活用したトレード方法ではじめから利益が積み上がりました。

しばらくしてある程度の利益が得られたので、次の段階として、その利益分が減ってもいいや、くらいの感覚で自分の売買判断でFXトレードをやり始めた感じです。

— ちなみに、最初の運用資産って、いくらぐらいでしたか？

3000万円だったんですよ。

— 3000万円ですか…一般の方からしてみると、やっぱりスタート地点が違うイメージなのですが。

多くは父の会社がしてくれた投資資金です。私は父の会社で経理や営業などを担当していました。父からは、社会勉強の一環として、株式投資や為替などの資産運用を勧められていたという背景があります。

— なるほど。ゆくゆくは会社経営のセンス向上につながるから、というような、お金動かす意味を教えるという側面もあったんですね。

そうかもしれません。社会勉強という面がある一方で、父の会社自体は経営が厳しい場面でもありましたので、投資収益で会社業績への貢献を託されていたというのも事実です。

- もともと株式投資などの経験があって、3000万円の運用がまかせられるというような土台があったんですかね。

いや、そんなことは無くて…

- おお。会社にお金の余裕がないときだったので、スパシーバ様、すごい重圧だったのですね…

まあ、最悪投資してもらった資金が減っても「父親の責任にすればいいや」くらいの感じでいました。

- (笑)。お父様には、勝算があったんでしょうね。

まあ、FXで大きく資産を増やせた今だから言えますけど、投資で成功できるかどうかは、紙一重だったのかもしれません。

例えばあの時、500万円くらい増やした程度でしたら、父の会社の支援にならなかっただでしょうし。

- FXをはじめたばかりの時期ですが、大きな金額でトレードをしていたんですか？

2010年前後の当時、日本ではFXのレバレッジ規制が始まる前でしたので私のトレードはハイレバレッジではありました。友人のFXトレードでもレバレッジの凄さを見ていましたが、自分自身がトレードする中で、あらためてFXが持つレバレッジの魅力を感じていました。

- では、まとまった金額でFXトレードをして、成果はどうでしたか？

とても順調でした。実際大きなリスクポジションを持っていました。

ひとつのエピソードとして、日銀金融政策決定会合の前に、レバレッジ高めで、数億円規模のポジションを持っていましたね。

今の自分ではとても考えられませんが(笑)

- 全力投球、ですね…

その時、FX会社の方が私のポジションを見かねたのだと思います。

金融政策発表の1時間前に電話がかかってきました「ポジションの量を小さくした方がいい」としつこく言われました…。

電話口で言われる「ロスカット」や、「追証（おいしょう）」という言葉の意味がまだ曖昧な時期でしたのでピンときませんでしたね。

— いやはや、FX会社の担当だったら、電話かけますね(笑)。そんな3000万円運用のFXトレードで、半年くらい後の運用成績はどうなったのですか。

半年は順調に行きました。資産が4億円ぐらいまでいったんですよ。

— よ、よんおく！？

日銀前にハイレバポジションを取るくらい、イケイケでしたので、倍々ゲームで増えていきましたね。

まあ、運がよかったというか。…今考えると、怖いです(笑)

— それにもしても、4億円（ご本人談）はすごい…

なにより、父の会社に貢献できたのが嬉しかったです。寝る間を惜しんでトレードしていた甲斐がありました。

— 会社でサラリーマンとしての仕事もしていたら、FXトレードと仕事とで、寝ている時間がないですよね。

はい。寝不足がたたったのか、仕事ではミスが出ていました。

経理の仕事で、外注の40社ぐらいに振り込みをするのですが、ある会社に1000万円を振り込むところ、1億円振り込んでしまいました…。謝りに行ったりなどしていました(笑)

— …当時の生活スタイルは？

実家と会社が別の場所なのですが、移動の時間が惜しくて会社に泊まり込みでしたね。

為替市場の相場観、FXの取引スタイルについて

- では、短期間に大きな利益をあげた取引スタイルを伺います。

その時は欧州債務危機だったので、ヨーロッパ時間で取引をしていました。ユーロが弱かったので、戻りを狙った取引でした。

- くわしくお願ひします。

ユーロ円で、下に80銭下落したら、そこから買い注文を段階的に、ポジション量を増やすため指値注文を入れていく、というものです。逆にユーロが上がったときはもっと強気にポジションをもっていました。

- エントリーはわかりました。決済はどうですか？

決済は、デイトレの中で行うというルールにしていました。これらについて、当時はFXのファンダメンタルズ分析がまだよくわかっていなかったので、どちらかと言うとギャンブルで使われる手法を学んでやっていた、という感じです。

- 損切りのルールは決めていました？

はい、翌朝の仲値まで狙った水準へ戻らなかったら損切ることにしてましたね。

- さきほどギャンブルという言葉が出たのですが、カジノなどは楽しんでいたのですか？

海外旅行のときカジノに行ったことはあったんですけど…。ギャンブルだと「運」だけですが、それじゃつまらないですか？

みんなで盛り上るのは楽しいのですけど、1人でやることはなかったです。

FXを始めたころのトレード環境・情報ソース

— 当時のFX取引の環境は？

パソコン1台だけでした。そういう時代でした。FXのチャートと、あとは株価を見ていました。そのとき、株とドル円の値動きが結構マッチしやすいことを途中から見つけたので。金利は、全くわからなかったです。

— なるほど、ではFXの勉強は何か特に注力して行っていましたか？

座学で勉強、というより、実践しながら学んでいました。例えば相場の動きを見ていて「何で下がったのか」と疑問に持ち、その時間に出たニュースを探して、「こういう内容で下がるんだ」など、地道に学んでいた感じです。

— どこからニュースを探していたんですか？

FX会社が提供してくれるニュースばかりでした。ただ、ニュースとして文章にまとまって公表される前に、相場は動いてしまっているから、ニュースが出ると相場が逆にいく、ということが多いかったです(笑)

— 投資家あるあるですね(笑)。そんなご苦労もありながら、順調に資産を増やす中で、十分お金を増やしたから、投資はもう辞めよう、とはならなかったですか？ だって、FXトレードをしていれば大きく資産が減る日もあるじゃないですか。

そうですね…。その辺は、平気なんですよね。何日もつらい気持ちを引きずる方もいらっしゃいますが、私は次の日どころか、損した当日でも平気ですね。

— えっ。

大きなポジションを持ったまま日をまたぐときは、損切りが気になって寝づらいことはありますけど、そうでなければ寝ることはできますね。

- では、FXを続けている理由は、ご自身のトレードの実力に自信があるからということでしょうか。

どんなにトレードで調子が悪くても、先ほど言った友人に教えてもらった手法に立ち戻れば、なんとかなるだろう、ということは大きいと思います。逆に、立ち返る方法が無かったら今日までFXを続けられなかっかも知れません。

- なるほど。

実は大きな損失で投資資金を減らし、FXをやめていた時期があります。その時はFXトレードの原点に戻り、その後再起したという経験がありますね。

- ちなみに、一時退場のキッカケは何でしたか？

日銀の、黒田バズーカ（2013年4月、黒田総裁の異次元緩和）ですね…。その日に、当時の運用資金の60%くらいが無くなりました。金額にして3億円くらいだったかな。

- ひい。

その後、約2カ月で2億3千万円（ご本人談）くらいは取り戻しましたけどね。

- わお。

以降は、一時的に両建てをするときもありました。ファンダメンタルズと逆のことをしないといけないような感じでしたし、精神的にきつかったです。ポジションは、1000枚ぐらい持っていたので、ある時は銀行に行って追加入金をしないといけないこともありました。

- もう、取引保証金が億単位だと、インターネット経由で出来る「クイック入金」のレベルでは追いつかないのですね。

はい、銀行での手続きが煩雑で、大変でした。

- そのときはもう専業投資家になっていたんですか？

ええ、専業になって約1年半後ぐらいですね。専業に踏み切ることへの心配は、「先に家さえ買っておけば、何とかなるだろう」という感じで解消しました。

— リスクヘッジとしてのマイホーム、だったのですね。

はい。先にマイホームを確保しました。あとは1億円ちょっとは銀行口座に入れておき、投資には使わないと決めておきました。

— 勝手なイメージで、大きな金額でトレードをされていらっしゃるため損益の規模が大きく、激しいトレードばかりをしているのがスパシーバ様、という印象がありました。

ですが、よくよくお話しを伺っていると、越えてはいけない「最終防衛ライン」を設け、必ず戻れる「安全地帯」を確保していらっしゃるというのがよく分かりました。

一応、はい、万が一には備えていると思います。

— FXに限らず、個人投資家の方で、いきなり大きな金額を手にすると、全軍出動すべての資金を投資に回す方がいらっしゃいますよね。そういうことは、していないのですね。

ええ。知り合いで仮想通貨取引でうまく行き、含み益が2億円までいったのに、利益確定しないうちにマイナスになった、という方がいます。

人柄は良いのですが、お金を増やすことについては、ちょっと…というのを見てきました。

ズバリ、FXの「必勝法」は…？

- ここで核心に迫る質問をいたします。ズバリ、FXで利益をあげる方法を教えて下さい！

…絶対「勝てる」方法は、ないと思います。確率の高いものはあるかもしれません。あと損を減らすことが重要です。

- そうですよねえ。

うーん、強いて言うなら、「巻き込み」ですね。

- 巣き込み？それは？

相場がリスクオフのとき、円高とドル高が起きますよね。このとき、ユーロは、ドルに対しても円に対しても下落します。

特にユーロ円は、ドル円とユーロドルのかけ合わせなので、大きく下がる。ユーロ円がその日の安値を更新するほどの下落をする場合は、注目です。

- はい。

そういう時は、ユーロ円は「巻き込まれ」ている状態です。その後、リスクオファイベントが大したことがないと分かると、ユーロ円は結構大きく戻ったりもします。この戻りを取る、というのはアリかなと。

- 具体的には？

戻るのかどうかを見極めるのは大変なんですけど、一定の下落幅を見た後、さらに下がった場合は何銭かおきにナンピンしていくという方法はあると思います。

- ありがとうございます。良いことをお聞きしました。

ただ、ブレグジットのような破壊的な下げでは上手くいかないので、そのあたりは見極めかなと思います。

- そこはやはり、自己責任ですね…

ユーロ円やドル円が急落した後、結局急落する前より高い水準に何日かして戻ってしまうことが多いじゃないですか。ショックが起きたときは、下に行きやすいですね。

- はい。為替相場の性質上、急激に動いたあと、上でも下でも、戻すという傾向はありますね。

私の経験上、「巻き込まれ」た通貨ペアは思ったより戻る、という性質を利益チャンスにすることがありましたね。

- なるほど、14年以上の長いFXトレード経験から、戻る確率などを頭の中で整理されているのではないかと思いましたがいかがでしょうか。

はい。これまで、データやチャートを見て、どれくらい戻すのかはさんざん分析してきました。

- では、下落が始まったと見て追っかけ売りなどは危険だとお考えですか。

ええ、下落から少し戻ったときの「戻り売り」は気を付けています。急に1円下がら、売りたくなっちゃうじゃないですか。

- たしかに。難しいのは、これまで大丈夫だったから今回も大丈夫だろうと思って、今回だけ大丈夫じゃない、というのがあるということですね。
そういう時は、損切りが大事ですよね。

はい。しかし損切りして、レートが戻るとショックですね。ヒゲだけ付けて戻っていくことも、また、よくあるじゃないですか。

- はい。

私は、前提としてファンダメンタルズ分析で相場の方向性を見定めるので、自分の判断がまちがっていたと分かったらすぐに、損切りをしています。値動きだけで撤退の判断をする感じではありません。

- そうなんですね。

ニュース、その他を見て、自分の見通しと逆の動きになったときにのみ損切りです。自分の分析を点検して、見通しが間違っていないと思ったら、そのままポジションを持ちます。自分の売買判断に自信があるのにポジションを閉じてしまって、その後、思惑通りになってしまったときのほうがショックですね。ただ切るだけなら、損切り貧乏になってしまいます。

- レートだけを見て、すぐに損切りの結論を出さず、しばらく見守るということですね。

はい。ただ売りポジションのときは、早めに損切りすることもあります。4時間足、8時間足で見たとき上値が重く、私の想定どおりなら下がるはずなのになかなか下がらない、というような時です。

- なるほど。

で、損切りしたあとに下がりはじめる…イラッとしますね(笑)。「あと1時間待っていれば、利益が相当出ていたのに」って(笑)。

取引する時間帯について

- 最近だと東京市場で、日銀総裁が利上げに前向きな発言をしたにも関わらず、それほど動かなかったのですが、欧州市場になってから一気に下がり始める、ということがありました。

スパシーバ様は取引時間帯によって、相場の見方を変えていますか？

以前、欧州債務危機の時は、欧州市場で動きましたね。ユーロドルが東京市場で上がっても、欧州時間になると下がる傾向がありました。あの時はユーロドルの売りだけやっていました。

今は、ドイツの財政拡大で少しユーロが強い感じでしょうか。こういうのは1～2週間の流行り（トレンド）ですが。時間帯と言うより、そのときの相場の状況分析が先ですね。

- 改めて、スパシーバ様がファンダメンタルズ分析を軸にトレードを組み立てているのがよく分かりました。相場の確認をしながらトレード方針を修正しているのだなど。

はい。

- 取引時間はいつですか？朝なのか、昼なのか、などです。特に決めていないですか？

そうですね…。

今はFX専業で大きなポジションで取引するようになっていますので、ファンダメンタルズ分析で先の相場展開が読めると、常に相場をみていますね。

- なるほど。

ここ最近では、相場の実需による急変、全戻しには振り回されることがあります。

- 実需の情報は、掴みづらいですものね。

あとは相場以外の予定で取引時間を確保できず、チャンスを逃すことがあります。

— それは？

3月28日金曜日に日本の消費者物価指数があったのですが、その前に上昇期待でドル円を買っていました。ただ、昼に人と合う予定があったため、徹夜のままでいるわけにもいきませんでした。

— はい。

それで、寝なくてはならないので消費者物価指数の後、下がったので損切りして寝ました。昼前に起きたら、ドル円が150.21円近辺に上昇していました。しっかりと、当初目標としていたレートを行っていた、と…。

— わお。

前日夜に150円ちょうどで買っていて、直近高値（151.30円）を目指すと見ていて、数十銭を狙うがために深夜寝れていなくて、結局予定のために損切りをした感じです。こんな感じのことを、日々時間に関係なく、紙一重のところでやっていますね。

— それはそれは…。新規注文から決済注文まで、スキャルピング的な事も、短期トレードも、スイングも、デイトレも、相場に合わせて判断されているのですね。

スイングは、これまで、あまりやってこなかったです。各国の政策金利が全部頭に入っている状態ですが、今の相場は、その金利通りに動いていないと判断していますから、やらないですね。

— なるほど。

金利について、取引にどう反映させるかは、判断に迷うことが増えました。相場の変動要因を、実質金利と言う方もいっぱいいますよね。

逆に政策金利だと主張する方も多いです。YouTubeなどでほかの方の相場分析を見ることがあります、意見がわかっているので、難しいです。

ほんと、何が正解なのか教えてほしいような感じです(笑)

- スパシーバ様も悩みがあるのですね…。決済までの時間ということで、ポジションを翌日に持ち越すことはありますか。

今は結構あります。ポジションサイズが大きいので、気を付けてはいます。

- FXの初心者の方に多い、意図しないポジション持ち越しについてはどうですか？デイトレのつもりだったのが、決済しないまま日をまたぐ方がいます。あまりよろしくないと思われますか？

私は、特に意識はしていないです。私の見通しから外れたら損切りをする、というだけです。

- その、損切りのレベル感って、明確なものは決めていらっしゃいますか。

特には、金額で決めていないです。相場にはダマシがあるので、ギリギリのところでは絶対損切りしたくないと思ったりします。

- なるほど。

ファンダメンタルズ分析で、明らかに、これで1円2円を担がれそうだと、逆に行かれそうなときには損切りします。

- ふむふむ。

今、ドル円でトレードしていますけど、去年大きく損失を出したのは、金利差縮小を見て売りを入れていたんですよ。クロス円含めて、です。ユーロ円でしたら去年「ユーロは利下げ」と言う声が多かったです。その時、実質金利は、まず頭になかったんです。

- ええ。

ファンダメンタルズメインですけど、実質金利差で為替が動くっていうのは、今でも答えが見つかってないです。

アメリカだってインフレ率が10%のとき、実質金利は7.5%ぐらいマイナスだったじゃないですか。だけどドル高になっていったという。

いまの日本も、その最中かなと思ったりします。インフレ率が上がっていて、給与も上がっているじゃないですか。ただ、それと為替相場との関連を見いだせるのか…、そこのジレンマがあります。

—アメリカがどうなるか、不確定なところが多く多すぎますね。（取材時点で、トランプ相互関税などは未発表）

はい。しばらくは、相場の方向が定まってからトレードするようにした方がいいのかなと今は思っています。

驚異の睡眠時間

- 時間帯を決めないトレードの場合、どこで睡眠時間を確保しているのか、何時間ぐらい寝ていらっしゃるのかをお聞きします。

1日、1時間から3時間…いや2時間寝れないときもありますね。

- え！毎日毎日、ですか？

ホント、そうですね…。月曜日は市場があく朝5時ぐらいに起きますね。

正しくは4時からレートが出る会社もあるのでそのレート見て、チャンスがありそうならそこからウォッチが始まりますね。

- …月曜早朝から、一週間の相場との対話を始める…。

そうですね。月曜朝からブルームバーグやロイターのWEBニュースを確認し始めますね。

- で、では寝るのは何時なんですか？

寝るのは、早朝の4時から7時とか、5時から寝始めるときもあれば、という感じです。ときどき東京時間の12時半から14時半まで寝たりはあります。見通しに自信がある時は、大きなポジションを持っていても仮眠する感じです。

- うわ。

ニューヨーク時間は寝れないですね。今だとトランプ発言が出るかもしれないし。ニューヨークローズになって、先ほどお話しした通り、2時間か3時間寝る感じです。

- それを専業になってからずっと続けていらっしゃる？

いや、トランプ大統領になってからです。バイデン政権の時は、そこまで不規則に相場が動かなかったので。

— トランプ劇場が、スパシーバ様の睡眠時間を奪っているってことですね…

まあでも、寝ないで取り組むことで大きく利益が伸びないなら、休んだ方がいいかなとも思っています。今までのFXの勝ちパターンがあるから深夜までやっていますが、こんな相場で読みづらいですし。

— スパシーバ様でも、このトランプ相場は困難ですか…

ええ。これまでのようすに、ニュースを全部見ていて、テクニカル分析もすべて行つていれば、「勝つべくして勝っていた」過去のイメージがあるんですけど…、いまは以前と同じことやっていても勝てないこともあるっていうのは…。

— やっぱり、相場が変わってしまったということなのでは、と考えていらっしゃる。

皆さん、トレンド、読めているのかなあ…(笑)。

— トランプ大統領の一言で相場の景色が変わっちゃいますよね。ただトレーダーの方の中には、ボラティリティがあるのは、ありがたいという意見もあるようです。

スキャルの方々ですかね。なるほど。

ビックリの投資環境

— 次にトレード環境をお聞きしたいと思うんですけど。

はい、iPadと携帯（スマートフォン）だけ、です。

— わお、パソコンじゃないんですか。

パソコンは保有はしていますけど(笑)。FXでは使っていません。

— おお。

常時表示しているのは、世界の株価とレートだけですね。ニュースは、1時間おきぐらいに見ています。大きく相場が動いたときはしっかり見ます。外為どっとコムさんのロイター赤文字ニュースは、いつも見させてもらっています。

— ご活用いただき、ありがとうございます。

ヘッドラインニュースが早いので、使っています。

— チャートには何を表示していますか？

チャートにはフィボナッチ、RSI、MACD、一目均衡表を表示しています。あとは移動平均線です。そのような分析情報の表示から、取引まで、すべてiPadで終えています。

— …。PCですと机のうえにマウス・キーボードが必要ですが、iPadは…？

ソファーに座って、です。私は、長時間トレードしているので、常に集中はできないため、テレビを付けながら、ちょっと雑音が入るようになっています。相場に入りすぎてしまうと、おそらく疲れてしまってトレードが続かないでの…。

外為どっとコムが提供する
ロイターニュース・ロイター赤文字ニュース

<https://www.gaitame.com/service/fx/member/premium/reutersnews.html>

▶ 詳細はこちら

- 自分が疲れず、適度に集中ができるような環境を維持しているんですね。

米雇用統計やFOMCなど、大きなトレードチャンスのときだけは、テレビを消すなどして、全集中するようにはしますけど。それ以外のとき、中規模の経済指標の前などは、リラックスするようにしています。もちろんレートはしっかり見てします。

- 本当にメインはiPad、そしてスマホという感じなんですね。これは読者の方には、良い意味で驚きなのではないでしょうか。
9画面のハイスペックパソコンで凄い情報を見ながらトレードしているという話だと、とても素人ではマネできない感覚になると思いますが。iPadとスマホなら自分と同じトレード環境だ、と感じると思います。

そうですか。

- レートの変化など、パソコンに比べて若干テンポが違うな、など気にはされませんか？

私はあまり気にしていないですね。細かいことを、もう少し気にした方が良いのかかもしれません。

- スパシーバ様が、数秒単位で取引を行うスタイルではないから気にならないのでしょうか。

一度に何銭か大きく動くときは、超短期トレードを実施しますよ。ただ、常にポジションを持っている状態なので、超短期はそう参加しません。

いまポジション持てれば、短時間でこの相場を取れたな、と思うときがあります。

- では、トレード回数は、1日何回ぐらいになるんですか。

スキャルピングなどでなく、回転させるときは回転させますね。だいたい、何回だろう。

— あまり、把握されていない？

あるFX会社の取引履歴が100ページを超えた月がありました。1ページに、40取引くらい書いてあったかな…。

— おお。

一度の取引で8000枚くらい持ります。それを、繰り返しやっている感じです。

— 睡眠時間以外はずっと相場と対峙していて、ここぞというときはトレードされているので、それぐらいの回数には余裕でなってしまうという事ですよね。

そうですね。あるFX会社、一社のキャッシュバック金額が、先月で800万円ぐらいだったかな？

— え…それで暮らせるじゃないですか。

いやいや、トレード自体で利益が出ていないといけませんからね(笑)

おすすめの取引通貨ペア

— メインの通貨ペアを教えてください。

今は特にドル円ですね。トランプ発言があったりして動きますので。あとはユーロドルですね。クロス円はそこまでやらないですね。

結局、合成通貨で掛け算になるので変な動きが出がちだな、と。まとめると、ドル円メインで、豪ドル、NZドル、ポンド…です。

— 例えばFX初心者の読者がいたときに、この通貨がオススメなどありますか。

いまはドル円、なんですかね。相場の流行によってだいぶ変わってくると思うんですが。トレンドが出る通貨ペアはやりやすいのではないかなと思います。

— なるほど。FX初心者の方が、バーチャルトレードでお試し勉強することについてはどうお考えになりますか。

うーん、リアルトレードの「痛み」がないと、トレードの反省ができないと思うんですよね。

— 確かに。

なのでリアルトレードで、トレンドを見つけて取り組んでほしいです。

初心者の方にまず覚えて欲しいのは、一番強い通貨と弱い通貨を見つけて取引をすると心がけることです。これは、王道の取引方法として、良いと思うんですよね。

その通貨強弱の解読方法、となるとやっぱりファンダメンタルズ分析になってくるのかなと思います。

— はい。

外為どっとコムのボラティリティツール

<https://www.gaitame.com/service/fx/member/premium/volatility.html>

▶ 詳細はこちら

経済指標や、要人発言、などですね。たとえばユーロが弱いときは、ユーロがらみの経済指標にフォーカスします。

— ええ。

経済指標というのは、直近の予想や過去の結果など、事前に調べられるじゃないですか。今回の市場予想と、前月比や前年比などがわかるので、それを見て準備はできます。

— では大体エントリーの時は経済指標の情報を分析して、動きが出てきたときにトレードするということでしょうか。

はい。テクニカル分析も活用して、RSIやMACDを含めて分析するのが理想です。それから下落だと予想したとき、上昇していたら売り注文を入れるのが一番いいと思います。

— FX初心者の方でも実践しやすいアドバイスをありがとうございます。

あと、日足の20MA（移動平均線）は、1回は跳ね返るイメージがあります。ドル円にしても、ユーロ円にしても。2度目、3度目はわからないんですけど、1回目は大きく跳ね返る、1円ぐらい動くイメージはありますね。

— 具体的に、ありがとうございます。移動平均線については、ちょっと判断が難しいときは無いでしょうか。

日足の20MAにタッチした後、若干抜けるときがあるじゃないですか。そこから、戻す動きになるという。なんというか一時的にある「抜け具合」は、どれぐらい余裕を持って見ているのかお聞きしたいです。

別の時間足を見て、終値で抜けているのかどうかを見るなど、どのように判断されていますか。

はい。過去のチャートを見ていると、その日に抜けても次の日、1回目のタッチで戻っているイメージがあります。ドル円のチャートなど見てもわかると思うのですけど、20MAにタッチして、戻ったりはしていると思います。ユーロドルにしても、そうかなと思うんですけど。

— なるほど

私のチャートには25MAも一応表示に入っています。そこを確実に抜けたら損切りかなと思っています。言っても、20MA、25MAって大差ないと思うんですけどね。

2024年7月31日の日銀金融政策のときは、200MAを抜けてから、一気に行きましたよね。そこで一回跳ね返って、その日のうち1円数十銭、跳ね返りましたね。



週末に行う投資情報の収集について

- 普段のFX情報収集や分析について、いつ確認していますか。

土日に重点的に、やっています。月曜から金曜だとレート変動があるので、テクニカル的なものは変わってくるじゃないですか。なので月曜日に入る前に、事前に確認した方がいいと思っています。

土曜になれば、週足も固まりますので、週足の終わり具合なども確認できます。

- 週末にまとめて見るのですね。

はい。月足も週末に確認しますね。

- すると、先ほど挙げてくださった5つのテクニカル指標を確認するのですか？

ええ。5つの指標の状態を見ます。あとは、安値引けで終わったときは、その後は大体下をためしてから上がるというイメージがありますので確認します。週足レベルで、勢いのある安値引けですね。上ヒゲなどつけていたら、月曜日の早朝に下へ仕掛けてくるかなと考えます。

これは高値引けであったときも同じです。あとは週明けで下がったとしても、上を目指してくるだろう、ですとか、下ヒゲの長い週足で陽線で終わったりした場合などにも注目します。いずれの形でも利益が取れるかなと思っています。

- チャート分析を週末にすることで、そのあたりが見えてくるんですね。

はい。上に行ってから下がるとしたら、上ヒゲつけてから下がってくるかな、など戦略を立てられます。

- そのあたり、明確にチャートの形をイメージしているのですね。

テクニカル分析だけだと、下値をつけて上がってしまうことがありますので、ファンダメンタルズ分析と合致するときだけトレードしますね。

だいたい両方合致することが多いんですけどね。ただ、ときどき合致しないことはあります。

— なるほど。トランプ発言などでは、合致しなくなるときが多そうですね。

ええ、ちょっと注意した方がいいですね。

— では、少し突っ込んだことを知りたいんですが、それらをiPadで分析したとき、チャート画像をキャプチャーして保存しておくなど、していますか？

いえ、すべて頭に入れます。

— え、すごいですね…。チャート分析内容をキャプチャーって、データでまとめてらっしゃるのかなと思っていたので、驚きました。頭に入れているんですね。

はい。相場はリアルタイムに動いていくので。瞬間瞬間でトレード判断しなければいけないのに、分析した画像や資料を見ていたのでは、もう相場は始まって、動いてしまっているので…。

— ああ…。

例えば、分析したテクニカル分析の横に、ファンダメンタルズ分析をすべて書き出しておけば、トレードに活かせるのかもしれないんですけど。

— そういう方も、おそらくいらっしゃいますよね。しかしスパシーバ様はその時間短縮のため、すべて土日に覚えておく、と…。

じゃないと、ねえ(笑)

— (絶句) …ちなみに、こうなったらこうする、というチャートパターンが頭に入っていると聞いたことがあるのですが。

ロジックというか、掛け算はしていますね。20の何乗とか、になっていると思います。例えばABCD…とパターンがあったとして、AとBだけ掛ければ良いときと、AとBとDをかけないといけないとき…様々あります。

— 100パターンどころじゃないですね…。

ええ。それでも、足らない時もあります(笑)

- スパシーバ様の凄さの片りんを感じました…。読者の方は、例えばトレードノートに書き留めて分析したり振り返ったりしていると思います。こういう方法はどう思われますか？

それは正しいんだと思います。私、トレード判断を口で説明できないですもん。伝えたくても、相手側に理解してもらえないことがあるんです。私の説明の仕方も悪いとは思うのですが。

- いえいえ、高みに追いつけないだけです…。

文字にした方が、わかりやすいですよね。

- さきほどの土日の分析で、チャートの形が頭の中にはいっていて、それを「見て」いらっしゃるから、言葉にするということを飛び越してトレード判断ができるのではと思いました。

もう、頭の中でチャートが「動いている」といいますか…

そうですね、日足、週足、月足、あとは直近の高値・安値はすべて頭の中に入っていますね。

- もともと、数字に強いですか？

私が子供だった昭和の後半、電話番号って覚えなくてはいけなかつたじゃないですか。なので数字は覚えていました。いまでも30人ぐらいの電話番号は頭に入っています。

- えっ！わたしは自分の電話番号さえ怪しいですが…。ずば抜けた記憶力があることがわかりました。

週末分析のために、iPadのチャートにはトレンドラインなどは引いておきますよ。レート変動でチャートの形が変わってしまうので、目安として変わらないラインは残しておきます。

ただ直近の高値・安値は確定した情報なので頭に入れています。前日の高値安値も、大体すべて記憶しています。

— 週末に行う分析は、何通貨を見るのですか。

主要通貨はおさえています。ドル、ユーロ、ポンド、オージー（豪ドル）、ニュージー（NZドル）、です。今はちょっとカナダも見ています。

— 大体土日に何時間ぐらい分析していますか？

時間は決めていないんですけど、1時間でチャート分析が終わって、サンデーダウなどを3時間に1回ぐらい見てますね。土日まで市場を見て…病気ですよね(笑)。サンデーダウが大きく動いているときは、理由をニュースから探し始めて、という感じです。

— ファンダメンタルズ的な情報収集は週末にしていますか？

新しく出たニュースがあれば見る感じですね。経済指標結果などは平日のうちに頭に入れているので。

— 情報ソースは？

見るのはロイター、ブルームバーグです。これは、ネットで無料で読めるものです。

— そうなんですね。情報ベンダーと個別契約して、何十万円払っている、とかではなく？

はい、全部無料のものです。いい情報ソースがあったら、教えてください(笑)

- つまり、個人投資家の方でもアクセスできるニュースでファンダメンタルズ分析を完結している、と。これは読者が勇気づけられる事実だと思います。

…ブルームバーグなど有料情報は、金融機関の方が見ているだけに、やはり伝わってくるスピードが早いんですか？

- 例えば経済指標などは発表後すぐに伝わってきますね。

ただ、スパシーバ様に活用いただいている、外為どっとコムのサービス「ロイター赤文字ニュース」があれば、ほとんど同じ速さで指標結果や重要なヘッドラインを見られると思います。

個人投資家の方に、数十万円のブルームバーグの個別契約は大変だと思いますので、ロイター赤文字ニュースを使っていただきたいなと思います。

わかりました。

- まとめると、情報収集は欠かさず、しかしネット検索すれば出てくる情報を見ていらっしゃること、あと、記憶力のところは、ちょっと一般の方にはマネできないかもしれないということ(笑)、がわかりました。ありがとうございます。

FXトレード時のメンタルについて

- 投資におけるメンタルについてお聞きしたいです。メンタルの重要性について、知りたい方が多いと思うんですけども、やはりメンタルは強くないとFXはうまくいかないんですかね。

私のメンタルは…周りからは強いって言われますけど、私自身としては、比べるものでもないし、強いのか弱いのか、わからないですね。

- では別の聞き方をします。FX投資のために眠れない日が続いてしまう、というのはどうですか？

不安とかではなく、アドレナリンが出ているとあんまり眠れないですね。あと、大きくプラスが出ているときと、大きくマイナスだったときは、眠れないですね。どちらにせよ、眠れないですね。

- 大きく損失が出たときは、取り返そうという感情が高まって来ることはあるんですか？

やっぱり人間ですので、それはありますね。ただ相場が読めないときに取り返そうすると、大体うまくいかないですね(笑)。トランプ相場では、特に多いかもしれません。

- 相場の方向が決まるまで、ちょっと待つなどしますか？

…アドレナリンが出ているから、待つのは難しいですね。

- その、アドレナリンが出ていることは、ご自分でも感じますか。

私自身はわからないんですけど、周りは気づいているかもしれませんね。そう言うときは、ものすごく集中してしまっているので。スポーツ選手のように、ゾーンに入ってしまうと、客観的な状態はわからないですね。

トレーダーとしてのモチベーション

- スポーツ選手という言葉が出ましたので伺います。自分自身でテンション上げるとか、自分を操作する目的で、あえてやっていることはありますか。

私は、会社の経営者でもあります。従業員がいますし、従業員の子供や配偶者もいるということを考え、それをモチベーションにしないといけないと考えています。

- なるほど…。社員を食わせる、という意味での重圧がおありなんですね。

資産に余力はありますので、F X トレードで不調が続いたとしても、大丈夫だとは思っているのですが、さらにステージアップを社員みんなとしていければと思うと、自分もステージアップしないといけないというので、日々頑張っているのですけどね。

FXトレーダーを育てるこ

- では第2のスパシーバ様を育てるみたいな、トレーダー育成についてはどうですか？

私は、難しいと考えています。すでにFXで成果を出している方は、教えるまでもないですし。FXでうまくいっていない方について、先ほどからお話している通り、私は相場について数字がすべて頭に入っていますので、私の「当たり前」にマッチしていない方が来ても、育成のしようが無いというか…。

- なるほど。スパシーバ様がエントリーする場面で、例えば育成人材がエントリーできなかったとなると。

「数字が覚えられないです」って言われたら、もうそれまでになりますし。私の「当たり前」ができないってことは、しょうがないとも思うので、無理強いもできないというか。

- スパシーバ様のお気持ち、よくわかりました。第二の大谷翔平を作り上げる、と同じようなものですものね。

(笑)。いや、私自身は大それたトレーダーとは思っていないんですけど、わかりやすく表現するなら、確かにそのような感じだと思います(笑)

- なので、後進の育成よりもご自身のトレードに集中することになる、と。

FXトレードの才能がある人だったら、一緒にやればうまくいくとは思うのですが、才能がある方は、ご自身のやり方で進むと思いますのでね。

- わかりました。では、自動売買のようなツール、取引手法に対しての見方・評価はどうですか？

…AIなどですよね。興味がないというよりは、相場で不確定要素が出たときに、自動売買は対応できないと思うんですよね。なので、投資で成果を得るのは難しいと思います。

- おっしゃる通りで、自動売買でみんな利益が上がるなら、みんなそれになってますよね。

ええ。選択肢が限られるもの、例えば将棋などであれば、AIや自動売買の有用性はわかるんです。やれることに制限がある、不確定要素がないからです。

経営者としてのミッション

— では、今後の目標について伺います。

ミッション・ビジョン・バリュー、という整理をしています。きっかけは父の会社を買うことになり、社員に伝えられるような明文化したものが必要になったというのがあります。買う会社は時価総額でいうと9億円くらいですから、その分の利益を出さないといけないということがミッションになっています。…個人投資家の方がミッションを作るって、難しいかもしれませんね。

— ミッション、わかりました。ではビジョンは？

数年、先を見据えて、投資先の多角化を定めています。社員数を増やして、FX投資以外の部分、たとえば不動産への資金のシフトなどでポートフォリオを作っていく、などです。FX投資にだけに集中していると、どうしてもその日、その日の収益に目が行ってしまうので。

— なるほど。

FXはレバレッジが法人なら約100倍ですよね。極端な話、100倍利益が出るときもあれば100倍損をすることもある世界です。なので、例えばFXで得た利益の半分などを不動産などに回していくなどがいいかなと。従業員の給与は、最悪FX以外から貰える状態にして、FXでプラスアルファとしてボーナスを出すという形にできればいいのかなとか思ったりしているんです。

— 素敵ですね。ではバリュー、はどうでしょう。

バリューというか、ブランドの定義ですかね。私の会社しかできないようなブランドみたいのができれば、いいよねという話をしています。

- よくわかりました。会社や、トレードの方向性を明確にするというのは大事ですね。一方で、あまり家にいらっしゃらないということも聞いたことがあります。

会食など、経営者としての役割で時間を使うことがあります。一度外に出ると、いろいろな方から食事に誘われたりしますので。ただ「トレードに集中する」と言うと、相手の方々も気を使って誘わない、という感じになります。

増やしたお金の使い方

- これまでで得た巨額の投資利益について、豪遊したりとか、高価な車を買ったりって、されていますか？

ああ…。私の車は、中古のハリアーです。

- え、中古、ですか？

今日持ってきた腕時計は、知人からもらったカルティエです…。時計は、私、必要ないと思って、今日は取材だからつけていったほうがいいんじゃない、と嫁に言わされたから…。

- えっ。

やはり、トレードのため体が資本ということで健康には気を付けていますし、食事は大事にしています。住んでいるところは、一番いる時間が長いという理由から居心地のいい状態を作っています。服に関しては、強いこだわりがあるわけではないんですけど…。

- FXで数十億の利益を得ていると聞くと、一般の方は何か豪華な体験をしているんじゃないかなって、考えると思うんですが…。

私、中国に留学していたことがありますて、ゴキブリがいっぱい出るようなところに住んでいたんです。なので、あの、求めるハードが低いんだと思います。日本に住んでいるだけで、きれいな水はあるし、安全だし、満足しているのかもしれません。

- そ、そうなんですね…

ほかの方と違うお金の使い方をしている、という意味では、競走馬を所有していることでしょうか。これについても、ビジネスでの人脉作りの面が大きいですね。

- 人脉作り、ですか。

ええ。だれでも所有できるものではない競走馬を持つ方々との付き合いですとか、人と人との繋がり、ビジネスの情報を得るなどがメインの目的です。

— はあ、そういう世界があるのですね…。あらためて、FXで頑張っている、自分へのご褒美のようなお金の使い方は、ないのでしょうか。

うーん…、ないですね。

— (疑いの目)

…へんな話、夜の華やかな世界なども、興味がないですから…。そうすると、豪遊というほど、お金を使う機会がないんです…。

— ホントですか？

逆に質問しますが、皆さんはお金があったら何をしたいんですか？教えていただきたいです。私がやってみたら、はまるのかなあと(笑)

— いやー、旅行とか、いろいろあるじゃないですか。

私、飛行機はエコノミー席しか乗ったことないです。海外旅行でも。

— えええっ！

これまで語らなかった、苦しんだ10代の体験

- 現在のスパシーバ様のお金への考え方は、若いころの経験が影響していると感じました。先ほど、中国に留学をしていたというお話がありました。また、お父様が会社経営されてるというお話も、一般サラリーマンの家庭とは違う幼少期があったのではないかと思ったのですが。

はい。

- お金についての価値観が、例えば、お金があってあたりまえの家庭で育ったので、お金を使って楽しむ、ということへの価値が見出せないのではないか、などはどうですか？

思い出すと、中学まで、お金の重要性について気にしていなかったと思います。育った環境に大きく影響される小さいころは、自分の周りも、同じようにお金について、あってあたりまえと勘違いしていたと思います。子供の頃が、ちょうど日本のバブル期でしたので、父の会社もすごく景気が良かったです。

- はい。

例えばうちにはハウスキーパーがいましたし。そんな小学生時代でした。

- うわ…。例えば、お願ひすればなんでも買ってもらえるという環境が子供の頃あると、大人になってから「物欲」が発動しないという話を聞いたことがあります。子供のころに物欲が満たされているから、大人になって、お金を得ても、別にもういいやっていう…。

確かに。うちの母や父はここまで何でも買ってくれるわけではなかったですが、近くに住んでたおばあちゃんの方が、遊びに行けば絶対何か買ってくれたんですよ。昔ブームだった「ゾイド」みたい高価なおもちゃも、全部買ってくれましたし。

- なるほど。会社経営者という、お父様の背中をみて、お金に対する考え方育まれた面もあるのではないかなと思いました。

ええ、父の影響は大きいかもしれません。父は、散財するようなお金の使い方はしていなかったです。

- ちなみに、お父様からの教えて、一番学びになったことってどんなことなんですか。

ああ、時間は絶対守る、ということです。時間厳守だけで信用力が全く違ってくると教えられました。相手が特に忙しい方の場合、分単位で仕事をしているので、待たせるということは、タイムイズマネーという言葉があるように、その方の時間を奪うことになるんだぞと言われましたね。

10分前行動は当たり前として、相手の方が30分前に来るのであれば、お前は40分前に着いていなければならぬ、と怒られたことがあって。その時は、意味が分からなかつたですが(笑)。

でも、時間のことくらいしか言われていないですね。自由奔放に育てられました。

難病と過ごした青春時代

- さきほどチラッとお話を出ましたが、なぜ中国に留学することになったのですか？

実は私、高校3年のときに、難病にかかりまして、入退院を繰り返していました。安倍元首相と同じ潰瘍性大腸炎でして。

- …はい。

入退院が18歳から23歳までずっと続いていました。長期間、西洋医学で治療していたものの改善が見込めないと、家族で判断したんでしょうね。ある日、パスポートを渡されて、中国に行って来い、と。渡航の一週間前でした。

- わあ。

現金は、10万か15万ぐらいしか渡されなくて…。「中国は物価がやすいから」と言われ。父の会社で以前働いていた中国人の方のツテがあるので、電話番号を教えるからそれを頼りに行けと。

- 入退院の状況から…極端ですね…。

ええ。そのとき、さすがに泣きましたね。だって中国も香港も、言葉が通じないし…。辞書だけ持たされて。

- 1人で行ったんですか？

はい1人で。忘れもしない、夜の23時ぐらいに現地に着いて、そこから中国の入国審査、という感じでした。

- 苦労どころじゃないですね…谷に突き落とされる感じですね。

苦労と言うか、大変ではありましたけど、今はあの時の体験があったからこそ、今の自分があると思っています。難病で入退院を繰り返す日々の中で、実家にいても、将来の不安はありました。体がままならないので、大学にも行けなかつたですし、アルバイトもできなかつた。

— むう。

いずれ両親がいなくなることは想像がつくなかで、自分はこの先どうなるのだろう、とすごく感じていました。当時、会社の業績が振るわないことも分かっていましたので、それはもう…。お見舞いに来てくれる方も、みんな暗い顔をするんですよ。点滴につながれながら、自分は死ぬのかな、とよく思っていました。

— 大事な青春の時期に、自分の意思ではどうにもならない体験が続き、1人で何とかしなきゃいけないという思いが強かったんですね。

そうですね。中国の漢方で、つまり東洋医学で難病を治してこいということで、2年半くらい留学をしていました。

— 実際、病気はどうなったんですか？

私は腸の病気だったんですけど、中華料理って、火を通してお茶で油を流すものですから、それが良かったのか、あれだけ苦しんだ病状は、回復しましたね。潰瘍性大腸炎は、完治がないと言われていますが、今は症状が出ていません。

— それは何よりです。中国でのすごい経験は、トレードに影響したとお感じですか？

ええ。メンタルは、中国で鍛えられたと思います。だって中国人と、言葉を喋れない状況ですから。辞書があるって言ったって、発音が難しいですし。学校は自分で見つけて、入りました…。

— え、本当にパスポートだけ渡されたんですね。

はい。中華料理、10人ぐらい食べてるところを、日本人は私1人なんですよ。

— むかしのテレビ番組で「電波少年」を思い出しました。

あれ、2人組でしたからね(笑)。こっちは1人ですから(笑)

— たしかに(笑)

そんな感じでしたので、メンタルが強くなったんです。一向に良くならない病気、本当に1人でやっていかなければいけない中国留学、この辺りは今につながる経験です。

— では、「つぎのスパシーバ」になるためには、中国留学、ですね(笑)

海外に1人で行くっていうのは、仕事をしている方は、難しいですもんね。

— それくらい、自分を追い込んで、背水の陣で臨むからこそ経験できることも大事だと理解しました。

言葉を選ばずに言うと、私がこれまで生きてきた経験からは「人間って、なかなか死れない」ということですね…。この若造が、って怒られそうですが(笑)

— いえいえ、力強い言葉をありがとうございます。

「可愛い子には旅をさせよ」という言葉の通り、自分を追い込む、苦難を乗り越える価値はあるのだと思います。

得意なトレードパターンを探す

- しつこくて申し訳ございませんが、改めて伺います。どうすればスパシーバになれる、でしょうか

それは自分にとって、利益を得られる確率の高いところを見つけて、そのような「得意の相場」でトレードする、になると思います。

- はい。

同じ相場でも、人によって得意、不得意はあるだろうから、私の「勝ちパターン」を真似すればいい、というものでもないと思います。

- なるほど。やはり個人個人で見つけていないといけないんですね。

そうですね。あとは、テクニカル分析のRSIで、めったに起きない「100」や「0」になってるときはチャンスだと思います。相場に絶対はないのですが、日足レベルだと1年に数回あるかないかですから。

- そこは素直に信じてもよいのではないか、と。

「100」や「0」は極端だとして、「90」以上や「10」以下だったら、売買判断に活かして良いと思いますね。

現在の人生観

- では、別の質問を。生まれ変わったとき、今と同じFX個人投資家になって億トレーダーを目指しますか。それとも違う人生を歩むと思いますか？

うーん…難病だったり、中国に行ったりという環境があったから、いまの自分があると思います。生まれ変わって、普通にいい大学に行っていれば、多分普通に、手堅い方向に行くと思います。次の人生でも、FXに全力で向かって行くかと言うと…そのときの環境によって、ケースバイケースになっちゃうんじゃないですか？

- では、環境が選べたとしたらどうでしょう。野球選手にも何でもなれるとしたら、トレーダーを選びますか？

…いや、選ばないと思います。

- その心は。

自分の時間が作れることを重視すると思います。サラリーマンとしての仕事が、9時～17時で終わって、それから、友人ですとか、彼女ですとかと時間をいっぱい使える生活のほうが…。ないものねだりではないのですが(笑)

- なるほど。では平日は睡眠がとれない状況、土日も暗記するほどの相場分析をする中で、現在はご家族との濃密な時間っていうのが作れていないということですか。

ええ。もう、家族には毎日のように謝っています…申し訳ない、と。

- 1ヶ月の中で、家族のために時間をつくるということはしているのですか？

それも…、全部相場次第になっています。それくらい真剣にしないと、相場で利益を上げられないと思っていますので。

FX専業トレーダー志望者へのメッセージ

- では追加の質問です。スパシーバ様が「専業トレーダーになりたい」と相談されたとき、なんてアドバイスをしますか？

その方の人生なんで…簡単にアドバイスはしづらいですね。

- 専業になりたいのでどうすれば利益をあげられるか、と相談されたらどうしますか。

そういう相談、受けて来たんですけど、なかなか難しいですね。先ほど言った通り、私のチャートパターンの掛け合わせを、相談者は頭に持っていないので。私が一時期、ファンド会社で働いたときも同じことがありました、トレーード判断について他の方に伝えるのは難しいなと感じました。

- やはりそうですか。

24時間、他の方と一緒にできないじゃないですか。お風呂、トイレ、全部含めて常に面倒が見れない…。ただ、専業になりたい方に覚悟があるなら、と思います。FX投資でマイナスになることもあるし、全部リスクを伝えて、家族の犠牲も出る、そういう話をしっかりすると思います。

- 覚悟が必要ということですね。本日は、貴重なお話をありがとうございました。

何かの参考になればと思います。

事例で解説！スパシーバ流 MACD・RSIの活用方法

トレード方針

- ・レンジ相場の時 → 逆張り
- ・レンジがブレイクした時 → 順張り

※順張り 止め時→MACD、RSIの売られ過ぎが出た時、そこからは逆張り

事例紹介 2024年7月末、日銀の利上げの時

①7/25-29 日銀発表前は151.90～154.74のレンジになっていました。

②7/31 31日発表後は今後も植田総裁が、これからも追加利上げをすること、今までのハト派からタカ派に変化して、下にブレイクすると思いトレードしました。

ドル円4時間足 2024年7月23日～2024年8月8日



①日銀会合 前日までのレンジ（拡大表示）



②日銀会合 発表前後の動き



③7/31

次の日にFOMCがあり、その月のアメリカの指標も悪かったので、タカ派的なコメントは出ないと思い、上がったら売ろうと思い、売りを狙っていました。
60分・4時間20MAや、60分の一目均衡表の雲の下限を売る目安にしています。



④7/31-8/1

2日後に米雇用統計があったので、その結果を待っている間は上がってきた時の売りでトレードをしました。

⑤8/2

21:30以降

米雇用統計が悪かったため、円強い・ドル弱い。

米雇用統計の後は上がってきましたら売りでトレードをしました。

売り時は、60分足の20MAを見て、位置も一目均衡表の基準線を目安に戻り売りをしていました。



⑥8/5

8:00以降

MACD・RSI共に日足で-2.000・20.000以下になっており、**売られ過ぎ**になっていたので、**反発**も考えつつも下値引けで終わったので、過去の経験上、日足・週足共に、下を狙ってきた後、**下ヒゲをつけて戻る**イメージでした。下も上も取ろうとしました。心の中で145円で買っておけば、プラスになると上記の理由で思っていました。

145.300～145.400で売り入れて決済が**145.000**付近で、利益確定。**(A)**

その後、**144.800～900**で買いを持ちました。**(B)**

⑦8/5

12:00ごろ

141.800付近まで行ってしまい、恐くて**損切り**してしまいました。

この時は**骨格となる基本的な読みは合っていた**ので暫く疲れなかったです。証拠金使用率とメンタルが敗因でした。損切りせず、138円まで買いポジションを保有していても、ロスカットはなかったですが、メンタルと恐怖心で損切りしてしまいました。



⑦ (続き)

結局その時つけた値が当面の下値になり、そこから反発しました。

反発の目安としてはフィボナッチ(161.950～141.689)日足20MAなど、戻り売りを狙うことになりました。

あくまでも個人的にですがフィボナッチは**38.2%と50%が強い**と思っています。

ドル円日足



まとめ：チャート全体

4時間足



60分足



編集後記

2時間を超えるロングインタビューに答えていただきました。終始なごやかな雰囲気であったのは、スパシーバ様に笑顔を交えてお答えいただいたからでした。

印象的だったのは、すべての質問に対して一つ一つ言葉を選び、丁寧に答えていただいたということです。FXトレード判断の方法から、ご自身のプライベートなことまで、なかなか聞けない貴重なお話を伺うことができました。

取材日：2025年3月某日 外為どっとコム 編集部

●免責事項

本サイトに掲載する情報には充分に注意を払っていますが、その内容について保証するものではありません。また本サービスは、投資判断の参考となる情報の提供を目的としたものであって、投資勧誘を目的として提供するものではありません。投資方針や時期選択等の最終決定はご自身で判断されますようお願いいたします。なお、本サービスの閲覧によって生じたいかなる損害につきましても、株式会社外為どっとコムは一切の責任を負いかねますことをご了承ください。